

宮城県仙台東高等学校 第一学年

休校期間中課題（国語総合）その1

読書記録カード

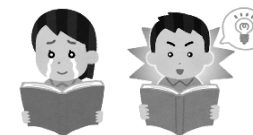
（ ）組（ ）番 氏名（ ）

本を読み、感じたことや考えたことを記録しよう。冊数は指定しませんが、最低1冊は読むこと。

読んだ日	タイトル	著者	出版社	読書メモ（心に残った台詞・文章・場面、考えたこと等）
／				
／				
／				
／				
／				

「家に読みたい本がない！こんな状況だから図書館や書店にも行けない……。」

→「青空文庫」で検索。作者没後50年を経て著作権の消滅した作品や、著作権者の許可を得た作品をネット上で読むことができます。様々なスマートフォンアプリも出ていますのでチェックしてみてください。（「ソラリ」がおすすめ）



【裏面へ続く】

副教材 「八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法」（数研出版）
最初～36ページまで を読んでおくこと。

ツバメが帰ってきて子育てに忙しい時期がやってきました。

今の世の中の困難も、ツバメが自然の営みに忠実なのと同じように、自然の営みの一つで、人もまたその自然の一部なのだという事を思い出させてくれます。一方、人の知恵には限りがなく、この困難を克服する手立てを様々に生み出しもします。

ものごとには、私たちの耳目に見え、聞こえてくるような「はたらき」という面があります。また、その一方に、その「はたらき」をうみだす「しくみ」という面もあります。本来は、「はたらき」も「しくみ」も同じことの裏表のようなもので、一つことのことなのでしょうが、我々人間はそのようにものごとを考えるもののようです。

そして、どうしても、われわれは、「はたらき」にばかり目や耳がいつてしまいがちです。「しくみ」を考えるのは、ややこしくて、面倒なのかもしれません。でも、「しくみ」を考え、知ることは、ものごとの全体像を知るにはとても大切なことに違いありません。

本を読むことで、知らず知らずのうちに、「はたらき」と「しくみ」の深い関係を我々は知るようになります。古い言葉の「しくみ」を知ることは、その「はたらき」と「しくみ」を知ることの有益性を我々に教えてくれます。

学ぶことは面倒な行いです。辛抱が必要です。他者との直接的な関わりが遠慮される今、本を通して他者との接点をもってみましょう。慌てることはありません。ゆっくり学んでいきましょう。

仙台東高校 国語科（1学年担当）

